

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7703	(H.24)No.	7703
-----------	------	-----------	------

事務事業名		水洗便所等改造資金融資利子補給(公共下水道)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
上下水道部		営業室		米住 正幸	63-4111
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成 18 年度 ~ 平成 年度	名張市水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給要綱			

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	1	下水道等
	小施策	1	公共下水道の整備
重点施策コード		4-5.下水道事業の計画的な推進	

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	661803
公共下水道事業特別会計		(中事業名)	
款	公共下水道事業費	公共下水道整備事業	
項	公共下水道事業費	(小事業名)	
目	建設費	水洗便所等改造資金融資利子補給	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
公共下水道事業において、既設の汲み取り便所の水洗化及び排水設備の設置又は改造しようとする者で、工事費用に要する資金の融資を希望される者を対象に、市が金融機関をあっせんするとともに、その利子相当額を融資を受けた者に助成する制度です。事業対象者は、処理区域内で所有しているもしくは所有者の同意を得た一般住宅で、申請者本人が水洗化等の工事をするなどの条件があります。	

めざす効果(事業目的)
水洗便所の普及及び公共下水道事業へ接続を促進することにより、生活環境改善と公衆衛生を向上させるとともに公共下水道事業の事業効果を高める。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	
主な事業の実績・計画	【継続】 上半期:2名分 1,837円 下半期:2名分 949円		18,500円/件数 (新規16件、継続34件)		指定管理	補助金・交付金	
	【新規】 1名分 17,061円				その他 ( )		
				平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
直接事業費	20千円	900千円	1,200千円	1,500千円	1,800千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金	10	450	300	300	300	
	県支出金						
	地方債	9	400				
	その他( )						
一般財源	(0)	1	50	900	1,200	1,500	
人工数	職員	0.05人	0.03人	0.04人	0.04人	0.04人	
	臨時職員等	0.00人	0.00人				
概算人件費	(0千円) 365千円	219千円	292千円	292千円	292千円		
+ 総事業費	(0千円) 385千円	1,119千円	1,492千円	1,792千円	2,092千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	水洗便所等改造資金融資利子補給件数	件	25	12	7	32	32
	実績			4.0	3.0	5	5	
	目標							
	実績							

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
啓発に努めるものの、対予算執行率は低くとどまった。	引き続き周知を図り、接続率の向上に努める。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
公共下水道への接続促進	

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢) の場合 (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	「社会資本整備総合交付金」に係る「効果促進事業」の活用をしていく。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

住民の生活環境改善及び公衆衛生の向上が図れる。また、水洗化率の向上につながるため必要。

#### 特記事項